

第1期計画を踏まえた第2期計画における課題

No.	1期計画		2期計画		事業名	新規/継続	備考		
	歴史的風致の維持向上に関する課題	基本方針	課題	対応					
①	歴史的風致の認知に関する課題 ・本市の歴史・文化を総合的に発信する機会が不十分	宇治の歴史・文化を分かりやすく情報発信する	<総合的な情報発信> 史跡整備事業 情報発信・観光交流施設整備事業 <参加体験型の取組> 宇治茶普及啓発事業 など	 本市の歴史文化を総合的に発信する機会が不十分。	歴史や文化を伝える個々の取組みは継続し充実を図る。宇治茶の歴史や文化、元来の価値を伝えることで宇治茶に対する市民意識の向上に努める。拠点を活用し、歴史・文化や宇治茶の情報発信を行う。	1	「お茶と宇治のまち歴史公園」を活用した情報発信	新規	
			2			歴史・文化啓発	継続		
			3			文化財見学会	継続	文化財見学会	
			4			市営茶室対鳳庵の活用	継続	市営茶室対鳳庵活用事業	
			5			宇治茶によるおもてなしの推進	新規		
			6			歴史資料館 常設展示及び企画展示の実施	新規		
			7			源氏物語ミュージアム 企画展示及び講座等の開催	新規		
②	宇治茶や地域の伝統文化の継承に関する課題 ・茶園面積の減少(茶園景観の減少) ・「本ず」の技術伝承 ・伝統行事の担い手の高齢化や参加者の減少	伝統文化・伝統行事の継承と振興を図る	<茶業の継続、品質向上・「本ず」技術の継承> 宇治茶園支援事業 宇治茶普及啓発事業 <宇治茶ブランドの向上> 情報発信・観光交流施設整備事業 市営茶室対鳳庵活用事業 <伝統行事の継承・振興> 宇治川鶴飼助成事業 など	 茶園面積の減少。 茶農家の高齢化などにより「本ず」の技術伝承が困難。 伝統行事の担い手の高齢化や参加者の減少。	茶業の継続、品質向上のための支援取組を推奨し、歴史と伝統文化の継承を図る。宇治茶ブランドの向上に努め、茶業の振興を図る。「本ず」の技術について文化財的な価値を調査・検証し継承を図る。伝統行事は、「宇治学」などの推進により住民の関心と意識を高める。市民主体で学習や取り組みを推奨し、担い手の育成に努める。	8	宇治茶園の支援	継続	宇治茶園支援事業
			9			宇治茶品質向上への取組み	継続	宇治茶品質向上事業	
			10			宇治茶普及啓発	継続	宇治茶普及啓発事業	
			11			宇治茶巡りガイドツアー	新規		
			12			無形民俗文化財等の記録調査	新規		
			13			歴史文化への愛着の醸成	新規		
			14			文化財の保存・修理・整備等への補助	新規		
③	歴史・文化遺産に関する課題 ・歴史的建造物の調査や検証が不足 ・未指定文化財の損傷や老朽化	多様な歴史的遺産の保存・活用を推進する	<文化財の保存・価値の継承> 宇治上神社拝殿ほか屋根葺替修理事業 <未指定文化財の調査・検証> 文化的景観整備計画策定調査 <観光振興と併せた文化財活用の取組> 情報発信・観光交流施設整備事業 <重要文化的景観や史跡宇治川太閤堤跡の活用> 史跡宇治川太閤堤跡調査 など	 古民家や宇治の個性を表す建造物の調査や検証が不足。 未指定文化財の損傷や老朽化。 史跡・名勝の保存・活用に関する具体的な方針を定めた計画の策定が必要。	多様な歴史遺産の保存・活用を推進する。未指定文化財を積極的に文化財指定し保存活用を推進する。個別の保存活用計画の策定を進め、計画的な保存や活用、整備を進める。	15	重要文化的景観の保存	継続	重要文化的景観保存事業
			16			未指定文化財の調査	新規		
			17			天ヶ瀬ダムかわまちづくり	新規		
			18			文化財の保存・活用の検討	新規		
			19			空き町家の活用の検討	継続	空き町家の活用検討調査	
④	まちなみ景観に関する課題 ・歴史的建築物の建て替えによるまちなみの連続性の喪失 ・電柱や架空線による景観阻害	宇治らしいまちなみ景観の保全・修景を図る	<景観政策の継続・推進> 無電柱化事業、建物修景助成事業 <文化的景観の修景や活用> 重要文化的景観保存事業 など	 歴史的建築物の建て替えによるまちなみの連続性の喪失。 屋外広告物の指導。	景観計画の策定、修景助成、屋外広告物助成などの景観政策により市民意識の向上、景観保全、景観誘導を促す。無電柱化事業の推進や家屋や屋外広告物の修景整備事業を推進し、多様性と賑わいのある通り景観の継承・発展に努める	20	道路の美装化	継続	無電柱化事業
			21			建物修景への支援	継続	建物修景助成事業	
			22			景観に配慮した取組み	継続	屋外広告物助成事業	
⑤	観光振興に関する課題 ・多様化する観光客の潜在的ニーズに対応した体験参加型施設の不足 ・観光シーズンの宇治橋を中心とした交通渋滞の発生 ・大規模駐車場が少ないことによる一極集中化 ・複数設置されている観光案内標識による景観阻害	歴史のまちにふさわしい観光振興を図る	<新たな観光振興策検討・関係団体と連携した施策検討> 観光振興計画策定事業 <まち全体を楽しむ参加体験型の観光振興> 宇治十帖スタンプラリー開催 <まちの回遊性の確保・向上> 歩道整備事業、観光サイン等整備事業 <観光駐車場対策と併せた公共交通の利用促進> 観光交通対策検討調査 など	 来訪者の平均滞在時間が3時間30分と短い。 多様化する観光客の潜在的ニーズに対応した体験型観光コンテンツの情報発信不足。 公共交通機関の利用促進や歩いて楽しめる観光を促す必要。	歴史・文化遺産を活用した新たな観光コンテンツの発見や魅力を再発信し、町全体を楽しむ参加体験型の観光振興を図る。観光客の多様なニーズに対応するため、案内・見学方法の充実、参加体験型の規格の開発、伝統文化の保存・継承などの多様な施策を検討する。周遊性の向上を進めるため、歩道整備など安心して快適に観光できる環境の整備を行う。	23	観光案内サイン等の整備	継続	観光サイン等整備事業
			24			宇治十帖スタンプラリー開催	継続	宇治十帖スタンプラリー開催	
			25			社寺等の歴史資源との連携	継続	京都・宇治灯り絵巻の開催	
			26			道路整備事業	継続	歩道整備事業、歩行空間整備事業	
			27			宇治川の鶴飼・放ち鶴飼の助成	継続	宇治川鶴飼助成事業	